

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英
幹事 兼子 英聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

第1592回例会

令和元年 7月25日 (19:00～)

○スマイルBOX

- 中目公英会長（本日の納涼例会、設営に当たられた親睦委員会の皆様、また家族の参加を促していただいた家族委員会の皆様、本当にありがとうございました。この納涼例会で梅雨明けが早まること、間違いありません。）
- 成井正之会員（親睦委員会の皆様納涼例会の運営ご苦労様です。大変楽しく過ごすことができました。ありがとうございます。）
- 片倉義文会員（納涼会、ゆっくりさせて戴きます。）
- 鈴木孝幸会員（中目兼子年度始まってのっけからの大イベントの納涼例会の設営、“親睦”委員会のみなさま、御苦労様でした！たのしませて頂きます。）
- 永野文雄会員（楽しい納涼例会ありがとう。親睦委員会の皆様、ご苦労様です。）
- 関谷亮一会員（中目兼子納涼例会おめでとうございます。本日楽しませていただきます。）
- 金田昇会員（やっと夏らしくなりました。楽しい納涼例会になりますよう。）



▶第1592回例会出席状況 (R元年 7月25日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	30名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	9名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	39名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	53
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	73.58%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

中目公英会長

皆さん、こんばんは。納涼例会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。昨日の夕方の集中豪雨は皆さん方被害はなかったでしょうか。1時間に94.5ミリとかいうふうな大変強い雨で、レベル4の警戒で全員避難しろというふうな皆さんの携帯でも流れたと思います。私も南湖神社境内が広いものですから見回りもしないといけないと思ひまして見回りをしたところ、神社の山と南湖森林公園の山の境の山が土砂崩れを起こしてしまひまして、役所にすぐ電話をして土をのけてもらおうとお願いしたのですが結局は来ないので、近隣のうちに土砂が流れたらば神社さんで金出してくださいって言われるとドキドキしたもんですから、雨が止むまでその現場に傘差していたらぶ濡れになってしまひまして、あと側溝に落ち葉と枯れ葉が埋まって溢れていたものですから、その処理なんかしていたらばもの見事に風邪をひいてしまひまして、今日変な声で失礼いたします。皆さんのところは被害がなければそれが何よりでございます。そういうふうなことでちょっと梅雨にまつわるようなお話を今日は卓話も何もないので少しお時間をいただいてさせてもらえればと思います。「梅雨(つゆ)」という、梅(うめ)の雨(あめ)と書きます。梅の雨と書いてつゆとは読めませんから、梅の雨というのは中国語です。どういうふうに発音するかは私はわかりませんが、もともと中国語の言語、梅雨(ばいう)と言いやすいように梅雨(ばいう)とでも言うとする、初めの言葉は黴(かび)という漢字だったんだそうです。黴(かび)の雨。沢山雨の降る時期でこの時期は黴(かび)が生えやすいので気を付けましようというのがその梅雨(ばいう)の始まりで、ただ黴という漢字は見た目があまりよろしくないというふうなことで、中国の方々がちょうど梅の実がつく頃だという季節であるから同じ発音の言葉の「ばい」という字の「梅」という漢字をあてたんだということだそうです。「梅雨(ばいう)」というのはそういう部分で、ただ日本人は「梅雨(ばいう)」を確かに「梅雨(ばいう)」とも言いますが、通常あれを「梅雨(つゆ)」と呼んでいます。梅雨という漢字だけ見れば、どう見ても「つゆ」とは読めません。これはちょっと調べてみましたが、江戸時代に「梅雨(ばいう)」が「梅雨(つゆ)」というふうに呼ぶようにある程度日本中に定着したんだそうです。その「梅雨(つゆ)」は沢山雨の長い季節ですから、毎朝起きてみると自分の庭先の木々の葉に朝露、露が付いてるからというふうなことで「梅雨(つゆ)」になったらしいというのが語源の一つで、それを「梅雨(ばいう)」に読むときに「梅

雨(つゆ)」と呼んだんだと。あともう一つの語源は、「費える(ついでる)」という、費用の費。あるいは、費えるを「ついでる」というふうに呼んだんだそうです。結局、カビが生えやすくてものがすぐに悪くなってしまふ。消費してしまうというふうなことで「つゆ」になったんだというふうなことで、まあどっちにしろ今年はまだ梅雨明けがしてません。去年は7月14日に梅雨が明けて、生命に関わる危機だと言われた年でしたけども、今年はおそらく今週末か、さもなくば来週早々くらいに梅雨が明けるのではないかと考えております。日照不足と低温の今年の梅雨ですから、皆さん十分に健康には留意されて、あともう少し梅雨を逆に楽しんでいただければと思っています。この梅雨、梅の雨ですけれども、今週末の27日は土用の丑の日です。鰻を食べる日ですね。梅と鰻という食べ合わせが悪いというのを皆さん方も聞いたことがあるんじゃないかと。鰻食べる時に梅干し食うと食べ合わせが悪くてお腹を下すんだと。ですから、この時期、梅雨の時期、梅雨明けの時に鰻を食うのは健康にいいんだと言うのでしょけれども、昔の日本人はこの梅雨明けの土用の日くらいに梅干しと鰻を食うのは体に良くないというふうに言われているそうです。ただ、現在の医学、栄養学的に言うと、かえってそういうふうなことは迷信だそうです。むしろ、梅干しを最初に食べて口の中を酸っぱくすると、胃の胃酸が沢山多くて消化しやすい状態になりますから、蒲焼きの甘いたれの鰻が沢山食べられて消化がいいんだそうです。ですから、皆さん方は梅干しと鰻の食べ合わせが悪いとかという迷信に惑わされず、沢山鰻を食べてもらえればと。ただ、その梅干しと鰻の食べ合わせが悪いとなんて言い始めたかそれを考えると、沢山食べすぎが悪いと。つまり、梅干し食って鰻食っちゃうと貴重品の鰻というのが、その当時昔はそんなに貴重品かどうかわかりませんが、それなりの高価な鰻を沢山食いすぎる。江戸時代だから贅沢を戒めたんじゃないのかというふうなことが、その食べ合わせの悪い一つの原因と言われる原因になっているんだらうというふうに書かれています。おそらく今週末、白河の川亀さんはじめ皆さん方、この前フェイスブックには孝幸さんがすごい郡山の美味しい所で鰻食って、無駄な栄養いっぱい付けてしまったとか書いてありましたけれども、是非皆さん方今週末は鰻を沢山食って無駄な栄養を沢山付けまして、来たるべき夏の暑さに備えていただければと思います。そのような形で、梅雨にまつわるお話を少しさせていただきます。今日は納涼例会でもう一回話をしないといけませんから、このくらいで会長の時間とさせていただきます。

納涼例会

○会長挨拶



中目公英会長
 納涼例会、皆さん飲み始める前です
 から長く喋りません。今日の納涼例会、
 ご家族の方々、お子さん方、沢山ご参
 加いただきまして本当にありがとうございます。
 設営に当たられました親睦委員会の皆様方、
 本当にご苦労様でございます。プ
 ラス、家族の皆様方が是非参加してもらいた
 いということで、家族委員会の諸橋委員長の
 ほうからかわいらしいご案内を皆様方の家
 庭に送らせていただきました。一つ楽しんで
 梅雨を吹き飛ばしたいと思いますので、ど
 うぞよろしくお祈いします。簡単ではあり
 ますが私の挨拶に代えさせていただきます。
 どうぞよろしくお願いいたします。

○乾杯



鳴島三夫直前会長
 皆さん、こんばんは。今日は中目年
 度の第一回の親睦例会ということで納
 涼例会。時間の許す限り、皆さんで楽
 しく過ごしたいと思います。それでは、
 皆様のご健勝と西ロータリークラブの
 ますますの発展を祈念しまして乾杯した
 いと思います。乾杯。



○司会進行



須藤正樹親睦
委員会委員長



